

vol.90

February 2020

学校法人常磐大学 広報誌 TOKIWA POST [トポス]

TOPOS

[特集]

茨城県の魅力って何？

「自治体魅力度」を
徹底的に考えるシンポジウム





茨城県の魅力って何？

「自治体魅力度」を徹底的に考えるシンポジウム

常磐大学地方自治力向上プロジェクト・吉田ゼミナール主催

12月14日、常磐大学見和キャンパス大講義室で『自治体魅力度』を徹底的に考えるシンポジウムが開催されました。茨城県は「都道府県魅力度ランキング」で7年連続最下位を記録しています。学生から研究成果が発表されると(右ページ)、自治体の魅力を高める必要性や取り組みが議論されました。約200人が集った会場からも意見が飛び交い、茨城県の魅力を真剣に考える場となりました。

パネリスト (写真左より)

- 笠間市長 山口 伸樹氏
- 茨城県営業戦略部参事 橋川 栄作氏
- 水戸市みとの魅力発信課長 沼田 誠氏
- 株式会社 絵になる水戸プロジェクト代表 首藤 敦子氏
- ミスジャパン2019 茨城代表 小松崎 ちさと氏

コーディネーター



法律行政学科長
吉田 勉 教授

法律行政学科3年
佐藤 菜月



パネルディスカッション テーマ「自治体の魅力(度)。どう考える？」

Q 最下位をどう捉える？自治体の魅力とは？

最下位の結果については「茨城県の魅力を考えるきっかけに」(小松崎氏)、「実際に来て、ギャップを味わってもらおう」(橋川氏)、「若い世代のために向上に努めるべき」(首藤氏)と前向きに活用すべきとの意見が目立ちましたが、一方で「ネガティブな評価は県民の自己評価を下げる。不快感を抱く市民が一人でもいるかぎり積極的に利用したくない」(沼田氏)、「どう捉えるかは個人の問題。行政はイメージアップ策よりも『観光客誘致』『定住人口増加』など具体的な目的に基づいた政策に力を入れるべき」(山口氏)という意見も出ました。

会場からは「魅力度ランキング＝観光地ランキング。騙されてはいけない」(水戸市男性)、「住む人の生活が良くなるのが第一。それが結果的に魅力度を引き上げる」(常磐大学教職員)、「情報不足で魅力が伝わっていないのか、情報が伝わったうえで魅力がないのかを見極めるべき」(茨城大学教職員)などの意見がありました。

Q どうやって魅力を高める？

「茨城空港の発着便の充実、ネモフィラのヘリコプター周遊など今ある資源の活用を」(首藤氏)、「茨城県は健康食材の宝庫。地元の食を提供する飲食店を増やしてほしい」(小松崎氏)、「地域を知り、最下位だと言われた時に反論できる自信と知識を育ててほしい」(山口氏)など、すでにある強みを県民が再認識し、積極的にアピールする必要性が説かれました。

また情報発信については「今はSNSという強力なツールがある。県民からも茨城県の魅力を発信してほしい。また、県としても全国、世界の人を魅了する情報コンテンツを作っていく」(橋川氏)、「情報発信には編集力も必要。複数の魅力を組み合わせると『これぞ！茨城』というポジティブなイメージを打ち出す。会場に集まっている皆さんは、是非この難問にチャレンジしてほしい」(沼田氏)と呼びかけました。

白熱したディスカッションでしたが、共通するのは茨城県への熱すぎるほどの愛！この愛こそが茨城県の魅力再発見につながる、強力なカギとなるのではないのでしょうか？

吉田ゼミナール 「自治体魅力度」の現状、取組事例の報告



「自治体魅力度」はどうなっている？

法律行政学科3年 川原 将司・長谷川 大地

現在、茨城県は「都道府県魅力度ランキング」(ブランド総合研究所)で7年連続最下位という状況にあります。しかし、視野を広げれば「住みよさランキング2019」「幸福度ランキング2018」(東洋経済新報社)ではそれぞれ11位。結果を見るかぎり茨城県民はそれなりに県に愛着を持っていることが推測されました。ところが、「愛着度ランキング2018」(ブランド総合研究所)では、茨城県が最下位という厳しい結果となりました。

魅力度最下位という結果を県行政はどのように捉えているか、私たちは最初の魅力度ランキングが始まった時期に遡り、過去10年分の県議会の議事録を調べました。当初は「最下位を逆手にとればいい」(2011年)と楽観的な意見もありましたが、次第に



「若者たちが生まれ育った茨城を見放すことになりかねない」「県民の自信、誇り、自尊心を傷つける」(2016年)などの危惧も生まれ、最下位脱出は最重要課題との認識が広がったことが窺われます。一方、「茨城県のニュースが全国に流れた回数が非常に多い」(大井川知事2019年9月記者会見)と県のアピールにつながる前向きな風潮もあります。いずれにせよ、私たちは茨城県の魅力や自治体の魅力度について、真剣に考えるべき時に来ていると思います。私たちが学ぶ常磐大学には県内で働き、住み続けることを希望する学生が多くいます。それゆえに、茨城県の未来を担う私たち自身が考えて、発信していく役割があると感じています。



「3期連続幸福度No.1福井県」の取り組み

法律行政学科3年 武藤 沙季

2012年から2年ごとに行われている「幸福度ランキング」(日本総合研究所)があります。ここでは茨城県は11位と健闘。際立つのが3期連続No.1の福井県です。その理由を探ると、女性の労働人口比率が約54%で待機児童率0%、子どもの運動能力・学力・社会教育費等も高いことなどにあるようです。

私たちは実態を探るべく、福井県庁に調査に行きました。県では交流文化部ブランド課を9年前に発足し、福井のブランディングに力を入れています。ヒアリングでは独自の教育制度やインターンシップ・就活支援など、教育・仕事の政策が充実していることが明らかになりました。また、県内外へのPR、移住・定住促進、さらには、県民が「幸福」を実感できる取り組みをしていることが印象的でした。

さまざまな調査から、私たちは福井県の幸福度の源泉は

「家族を中心としたサイクル」にあると感じました。3世代同居が多い福井県では、祖父母の子育て支援が厚いため母親が働きやすく、それが収入増となり教育費の充実にもつながっています。一方で、「嫁の犠牲のもとに成立」「3世代同居、コミュニティに息苦しさを感じる人も」とリアルな声も聞かれました。

福井県のサイクルは理想的な家族の一形態ですが、生き方が多様化する時代では息苦しさを感じる人も増えていくのかもしれない。幸福度だけでは測れない「幸福」に気づき、理解することも大切なのではないかと考えています。



「茨城県民・福井県民アンケート調査結果」の報告

法律行政学科3年 工藤 颯希

茨城県と福井県の県民意識を探るアンケート調査(対象:茨城県民254人、福井県民101人)を行いました。まず茨城県民は、魅力度最下位であることを97.6%の人が認識しており、その実感は55.5%が「とてもある」「ある程度ある」と答えています。最下位であることが、不快もしくは自信・誇り・自尊心を傷つけるかの質問には、76.3%が「あまり思わない」「全く思わない」と答えています。

一方、福井県民は幸福度No.1であることを72.3%が認識しており、その実感が「とてもある」「ある程度ある」と答えた人は52.1%でした。ちなみに、茨城県が魅力度最下位と知っている人は53.0%、最下位の



イメージだと「あまり思わない」「全く思わない」が61.6%にのぼりました。

共通していたのは、行政が魅力度や幸福度を向上させる取り組みをするべきかという質問に「是非取り組むべき」「可能な範囲ですべき」と答えた人が茨城県では73.2%、福井県は81.2%と多いことでした。茨城県民からは「(ランキングは)遊びの延長で真剣に捉える必要はない」「不幸な人を減らすことこそが行政の仕事」「住みやすい街をつくれればおのずと上がる」「魅力を発信したり、幸福をもたらす施策は必要」などのコメントが寄せられました。今回の調査結果からは県民や他県民の印象や実感は必ずしもランキングと一致するわけではないものの、行政が自治体の魅力度や幸福度を向上させる取り組みをするべきと考える人が多いことが明らかになりました。



学生が伝えたい! 茨城県の魅力

茨城県をこよなく愛する6人の学生に、それぞれの出身地の自慢を存分に語ってもらいました。魅力あふれる茨城県に迫ります。

常陸太田市



大高 晴輝
総合政策学部
経営学科1年

のどかな常陸太田市が、興奮と絶叫に包まれる日があります。それは成人式の日。竜神大吊橋には日本一のバンジージャンプがあり、希望する新成人は挑戦することができます(①)。私は2021年の新成人なのですが「挑戦すべき? やっぱ怖い…」と日々揺れています。常陸太田市の田園風景(②)は四季折々に美しく世界に見せたい絶景です。また、昭和ノスタルジックな雰囲気漂う鯨ヶ丘商店街(③)はロケに使われることも。子どもの頃に体操服を買った思い出があります。豊かな自然に囲まれてスローライフが送れる常陸太田市はずっと住み続けたい最高のふるさとです。



①



②



③



笠間市



磯山 なつね
総合政策学部
総合政策学科2年

笠間稲荷神社(①)は日本三大稲荷の一つで、初詣には約80万人が訪れます。私も小さい頃からお参りしています。帰りに食べてほしいのが名物いなり寿司。そばやくるみなど変わり種があり、ギネスブックに載るほどの長〜いいなり寿司をみんなで作るイベントも(②)。そして、笠間といえば笠間焼(③)。私も小学校の授業で笠間焼に挑戦しました。「特徴がないことが特徴」といわれる笠間焼ですが、陶炎祭などの陶器市では全国からファンが訪れるほどの人気。温かみがあって日常に馴染む笠間焼は一度良さを知るとクセになるのだと思います。私にとっての笠間市は100点満点です。



①



②



③

下妻市



神郡 彩希
人間科学部
教育学科2年

下妻市民が最も熱く盛り上がるのは8月の下妻まつり。市民ならば踊れぬ者はいない下妻シッコメに合わせて踊る千人おどり(①)は壮観です。フィナーレには、約3,000発の花火が打ち上げられるしもつま砂沼花火大会(②)。また春には桜、秋にはコスモスなどさまざまな彩りを楽しめるのも好きなどころです。最近、話題なのは市内を走る関東鉄道常総線の結婚式! 1911年創業の常総線は茨城県民の足。祖母、母も乗り、私も高校時代にお世話になりました。1両編成でのどかな田園地帯を走るけなげな姿は、レトロな雰囲気あふれるローカル線としての魅力も抜群だと思えます(③)。



①



③

シッコメは下妻の方言or掛け声と諸説あり



②





①

日立市のシンボルは大煙突(①)!かつて鉾山の煙害が問題になり、1914年に当時世界一の高さを誇る大煙突が完成しました。その物語が描かれたのが映画「ある町の高い煙突」です。そして環境改善のために市民と企業が協力し、桜の木を植え、現在は市内に1万4000本を超える桜があります。中でも平和通りの桜は日本さくら名所100選に選ばれるほど。「日立さくらまつり」では、風流物と呼ばれる山車が繰り出します(②)。私が利用する日立駅は“海の見える駅”。一面の海が見渡せる場所にピアノがあり、時々友達と弾くことも(③)。国際的な賞も受賞している自慢の駅です!

日立市



赤津 光咲

短期大学
幼児教育保育学科1年



②



学校帰りに
ストリート
ピアノ!!

③



5代目
看板娘!!



①

私の家は泉町で4代続く伊勢屋(①)。創業から変わらない味のみたらし団子、自家製の餡がご好評いただいています。8月の水戸黄門まつり(②)では、お店の前に露店を出して、お祭りに参加しています。水戸は古くから続く専門店や老舗が多く大好きなまち。私が通った水戸三高は水戸城跡にあり、日本史では水戸学が幕末から明治維新の日本に大きな影響を及ぼしたと学びました。黄門様である徳川光圀公を生み、江戸時代の総合大学にあたる弘道館(③)、日本三名園である偕楽園がある水戸は、日本を代表する地方都市の一つと誇りに思っています。

水戸市



飯島 優香

人間科学部
心理学科3年



②



③



①

なんとといっても、日本で2位の湖面積を持つ霞ヶ浦が自慢。霞ヶ浦大橋から見える夕日(①)は、絶景です。そして、名物といえば、帆引き船(②)。風力で網を引く帆引き漁法は国選択無形民俗文化財にも選定されました。また、かすみがうら市は、古墳銀座と言われるほど多くの古墳(③)が点在し、小学校の頃には社会科見学でも訪れました。卒業後は、地元で行政の仕事に就き、かすみがうらの広大な土地を活用して企業誘致を実現するなど、さらに地域を活性化できればと考えています。

かすみがうら市



濱野 拓海

総合政策学部
法律行政学科2年



②

中学時代に作った
my 帆引き船!



③

写真提供

笠間観光協会、かすみがうら市、かすみがうら市歴史博物館、観光いばらき フォトライブラリー
下妻市観光協会、常陸太田市観光振興課、日立市市長公室シティブロモーション推進課

関東鉄道株式会社



令和初「ときわ祭2019」。みんなで心をついに！ 新時代にふさわしい活気あふれる2日間に

10月19日・20日、「ときわ祭2019」が開催されました。令和初となるときわ祭のメインテーマは「TOKIONE! REIONE!～心をついに～」。常磐(ときわ)と令和(れいわ)で韻を踏み、新しい時代のときわ祭を学生が一つになって盛り上げようという意味が込められています。第37期ときわ祭実行委員会委員長の鈴木宏汰さん(総合政策学部経営学科3年)は「今年は、記念すべき令和最初の学園祭ということで、新たなチャレンジに果敢に取り組んでいきたい」とその意気込みを語りました。キャンパス内では各ゼミナールや部活、サークルなどが独自のアイデアを盛り込んだ模擬店や企画展を披露。恒例のお笑いライブや参加型企画のピンゴ大会、ダンスパフォーマンスなども展開され、来場者を楽しませていました。室内企画では、各団体の特徴を生かした展示や発表の他、防災・減災を啓蒙する企画も実施。地震などによる被災状況を伝えるパネル展示やワークショップなどを通して、多発する自然災害への備えの重要性を呼びかけました。常磐大学自治会執行部・常磐短期大学校友会主催の「ときわ祭講演会」では俳優で気象予報士の石原良純さんに「こんなに楽しい気象の話」というテーマで講演していただきました。常にチケットが完売する音楽ライブでは「雨のパレード」と「CHAI」が出演。会場となった体育館で白熱のライブを繰り広げました。学生たちが力を合わせ一つとなって盛り上げ、新しい時代の幕開けにふさわしい令和元年のときわ祭となりました。



News and Topics

学び、体験し、日々成長している学生・生徒・園児たち。
そんな彼らの活躍の場は、校内にとどまらず
さらなる広がりを見せています。
ここでは各学校の主な活動や取り組み、実績などをご紹介します。



「幼教フェスタ2019」開催 私たちには世界と未来を変える力がある！

12月22日、幼児教育保育学科の「幼教フェスタ2019」が開催されました。幼教フェスタは保育を学ぶ学生たちが日頃の学習成果を発表する一大イベント。ゼミ活動を報告するポスターセッションや課題研究で作成した教材作品の展示、ステージ発表などが行われます。今年のステージはダンス、演劇、合唱はもちろん、動く絵本のようなパネルシアターも披露。子どもたちが大好きなアニメ作品にちなんだ演目も多く、誰もが楽しめるプログラムとなりました。このイベントの特色は、すべてが学生主体で行われること。演劇脚本から衣装や舞台セット、ダンスの選曲や振り付けに至るまで学生の手で作り上げます。ステージングも見所の一つ。息の合った舞台転換、幕間の手遊びやナレーションなど観客を惹きつける工夫が凝らされています。今年のサブタイトルは「私たちには世界と未来を変える力がある」。子どもたちを健やかに育てることは未来を創ることであり、世界を変える可能性を秘めています。学生たちの明るい笑顔から、素敵未来が垣間見えるイベントになりました。



三大学(常磐大・茨城大・茨城キリスト教大)を結ぶ 遠隔授業方式の教育講演会

常磐大学、茨城大学、茨城キリスト教大学は、2018年度に三大学教員養成連携協議会を発足させ、大学における教員養成の質の向上を図っています。12月14日、同会による講演・懇談「学びの転換と授業づくり」が開催され、大学間をネットワークで結んだ遠隔授業方式でも行われました。講演に先立ち、茨城大学学長・三村信男氏、常磐大学学長・富田敬子氏、茨城キリスト教大学学長・東海林宏司氏が挨拶。富田学長は「複数の大学が遠隔システムでつながり切磋琢磨できる。高等教育は協働することで新たな価値を作り出す時代」と遠隔授業の意義を語りました。講演ではNHK報道局チーフディレクター・興野理氏が「番組制作と授業展開の課題と可能性」というテーマで、番組制作と視聴者の関係を教員と生徒の関係になぞらえ、視聴者(生徒)の興味を惹きつける番組構成(授業展開)の必要性を語りました。「授業づくりの楽しさと難しさ」と題した質疑・懇談には、ばら野学園那珂市立五台小学校勤務の田沢真奈実先生(2013年度)



ア 常磐大学人間科学部教育学科卒)、常磐大学人間科学部教育学科初等教育コース3年の薄井淳さんほか、他大学からも教員や学生が参加。授業で感じる課題や工夫している点などを興野氏を交えて話しました。大学の垣根を越えて教育にまつわる情報を共有し、遠隔授業の可能性を示す試みとなりました。



海外研修旅行で日英の生徒が異文化交流 英語スピーチや空手、マジックを披露!

5年次生がイギリス・チェルトナムで9日間の語学研修とホームステイを経て、ロンドンを観光しました。初日にはPittville Schoolを訪れ、日本文化の紹介を行いました。イギリスの方々に前に英語でプレゼンテーションするのは緊張した様子でしたが、空手の演武やマジックなどを披露すると拍手喝采を浴び、笑顔が見られました。翌日は、同世代の現地の生徒たちとスポーツ交流。英語で自分の考えを伝えることに四苦八苦しながらも、スポーツを通じて徐々に打ち解け、学校生活や自分の夢などについても語り合いました。さまざまな人と出会い、語り合った今回の研修。失敗や言葉の壁を恐れず、積極的に自分から話しかけたり、行動を起こす勇気が大切と生徒各自が胸に刻んだ海外研修旅行でした。



本の魅力を熱く語る知的書評合戦 「ビブリオバトル」で常磐生が地区決戦へ

10月8日、常磐大学で「全国大学ビブリオバトル2019～首都決戦～」の関東Aブロック予選会が開催されました。ビブリオバトルは、発表者たちが持ち時間5分で自分が選んだ本の魅力をプレゼンし、どの本が一番読みたくなったかを観客投票で競う書評合戦です。チャンプ本は山口真太郎さん(総合政策学部総合政策学科1年)の『グラスホッパー』(伊坂幸太郎著)。作品に込められたメッセージを自らの考えを交えて熱く語るスピーチが観客の心を動かし、最多の票を集めました。山口さんは茨城県立図書館で開かれる地区決戦に出場し、「全国大学ビブリオバトル2019～首都決戦～」の本戦進出を目指します。



常磐生141人が地域の事業所で職業体験 2019年度インターンシップ学内報告会

10月8日、2019年度のインターンシップ学内報告会が開催されました。今回は履修者が141人と昨年の約3倍にのぼりましたが、地域の事業所の皆さまのご協力により、学生たちはそれぞれ自治体や企業などで夏季休業中に大変有意義なインターンシップ実習を受けさせていただきました。そのうち選ばれた報告者8人(大学7人、短大1人)が活動成果を発表し、受け入れ先の事業所の方からも温かい励ましのお言葉をいただきました。



みんなで育てて、みんなで作ろう! おいしさと感謝を分かち合った収穫祭

12月12日、今日は年長組の子どもたちが待ちに待った収穫祭。みんなで1年間かけて育ててきたお米を味わう日がやってきました。まずは、お米を研ぐ作業。冷たい水に手を入れて生米の感触と研ぐ音を楽しみながら、交替で頑張りました。次は、いよいよお米を炊きます。園庭のかまどに火をおこして、お釜を火にかけます。園児たちは身を乗り出し「おいしいご飯にな〜れ!!」と念力を送りながら、炊き上がりを待ちました。お米を炊く間に、焼き芋の準備もスタート。まつのご広場で掘り起こしたさつま芋を焚き火に入れて焼き芋づくりです。みんなで力を合わせてできあがったご飯と焼き芋。ご飯は真っ白でツヤツヤで、いい香り。焼き芋はしっとり甘さ抜群。焼き芋は年少・年中さんにも分けてあげて、みんな大喜びでした。自然の恵みにみんなで感謝して、おいしさを分かち合えた楽しい収穫祭でした。



エンターテインメント&感動を届けよう 部活動共同開催クリスマスフェスティバル

12月21日、70周年記念講堂で書道部・チアリーダー・吹奏楽部・箏曲部・演劇部・ダンス部共同開催のクリスマスフェスティバルが開催されました。各部活動のメンバーは、観客の皆さんを楽しませることを第一に工夫や演出を考えて、準備を進めてきました。その努力の甲斐あって、緊張して舞台上がりながらも、それぞれの部活動がクリスマスらしい演出や個性あふれる演出を凝らした発表になりました。参加メンバーもお互いの部活動の発表を見て、刺激を受けた様子でした。来年はよりパワーアップしたイベントになるよう、各部活動とも邁進していきます。





心理臨床センター主催第28回公開講演会 臨床心理士がおすすすめするっておき子育て絵本

12月1日、心理臨床センター主催の第28回公開講演会が開催されました。講師にお招きしたのは京都女子大学発達教育学部児童学科准教授で公認心理師・臨床心理士の瀬々倉玉奈先生。「こどもによりそうあなたに贈る絵本」をテーマに、育児を題材とした絵本を臨床心理士の視点から読み解きました。瀬々倉先生は大学に勤務しながら約20年間、保健センターで乳幼児の子育て支援に関わってきました。その中で出会った、大人にこそ伝えたい3冊の絵本を紹介していただきました。1冊目はニュージーランドの子育て支援施設に貼り出されていた作者不明の『今日 Today』。子育てと家事を両立し、頑張る自分を肯定する大切さを語りかける1冊です。2冊目は森野さかな作・絵『理想のママのつくりかた』。満たされない幼少期を過ごしたママが子どもに辛く当たってしまう切なさを娘の視点からファンタジックに描いた作品です。3冊目は森野さかな作・絵『パパさんロボット買いました』。育児参加するパパの奮闘を描き、家族の温かさを再認識させてくれる作品です。今回の絵本について「漠然とした、なんとなく感じる不安に言葉やかたちを与えてくれるもの、「気づき」のきっかけにしていだければ」と瀬々倉先生は参加者に優しく語りかけていました。



街頭補導サポートで、茨城県警から感謝状授与！ 地域で活躍する本学の「大学生サポーター」

白土みなみさん(人間科学部心理学科4年)と櫻岡徹也さん(総合政策学部法律行政学科3年)に茨城県警察から感謝状が授与されました。本学では2013年度から茨城県警察と協定を結び、少年の非行防止や健全育成活動の強化「大学生サポーター」の活動を始めています。活動は街頭補導サポート、SNSなどのサイバーパトロール、薬物乱用防止の啓発活動など多岐にわたります。白土さんと櫻岡さんは、主に街頭補導のサポート活動実績が評価されました。自らの取り組みについて「自分の視野を広げ社会を知るために始めました。街頭補導では少年たちの悩みや普段の生活などを傾聴することを心がけています」(白土さん)、「警察の仕事に興味があり、活動に参加しました。警察官の方から相手と目を合わせ、友好的な話し方をすることを教えていただき、実践しました」(櫻岡さん)とそれぞれ話していました。本学では大学生サポーターの活動を通じて、今後も地域の少年の非行防止や健全育成活動の強化に取り組んでいきます。



日本の伝統芸能を堪能した芸術の秋 卒業生の歌声と和太鼓体験に感動！

11月15日、伝統芸能をテーマに芸術鑑賞会を行いました。一つは本校の卒業生であり、日本三大民謡の一つである「磯節」で日本一に輝いた伊藤芳枝さんによる民謡の鑑賞。もう一つは、和太鼓グループ「彩-sai-」による和太鼓と、生田流箏曲演奏家の石本かおりさんの箏の鑑賞でした。多くの生徒たちは初めて聴く磯節の力強い歌声や大迫力の和太鼓演奏に感動していました。また、和太鼓グループ「彩-sai-」の皆さんは、本校の生徒たちをステージに招き、和太鼓を体験させてくれるなどして大いに楽しませてくれました。芸術の秋、生徒たちは豊かな心を育む体験を楽しむことができました。



本校野球部主将を務めた鶴見凌也君が オリックス・バファローズと仮契約へ！

10月のプロ野球ドラフト会議で、本校野球部前主将の鶴見凌也君がオリックス・バファローズより育成ドラフト5位指名を受け、11月19日水戸京成ホテルで仮契約を結びました。背番号や年俸などを提示されて、プロへの第一歩を踏み出すことになった鶴見君。仮契約を終えて、「気持ち新たに、鶴の恩返しのため頑張ります」と色紙に書かれた決意を表明。残りの学校生活では、他の生徒の模範となるよう過ごし、プロに向けてスキルアップに精進していくと話していました。息の長い選手として野球界で活躍してくれることを願っています。



ロールプレイで金銭トラブルの対処法を学ぶ 若者を対象とした消費者教育セミナー

11月30日、茨城県消費生活センターの消費者教育啓発委員・萩谷成子先生を講師にお迎えし、消費者の基礎知識として契約トラブルと対処法について学びました。社会に出てから身のまわりで起こりうる金銭トラブルや、ネットトラブル、また消費者契約法改正等を踏まえ、実際に3人の生徒がステージでロールプレイをして、契約時の注意点を確認しました。今回のセミナー内容をしっかりと身に付けて、3年生はいよいよ卒業の時期を迎えます。





五感を使って文化や歴史を堪能した 東京都内での社会科学研修旅行

10月17日、2年次生が東京都江戸東京博物館、キャッツ・シアターでの社会科学研修を実施しました。江戸東京博物館では、江戸東京の歴史を学習し、実際に籠や人力自転車に乗るなどして楽しく学ぶことができました。キャッツ・シアターでは劇団四季の「キャッツ」を鑑賞。会場の雰囲気や歌や踊りを間近で観られるミュージカルの迫力に圧倒され、多くの生徒が感動していました。五感を使って文化や歴史をたっぷり学んだ研修旅行となりました。



宿坊で己と向き合う坐禅体験も！ 教室で学んだ歴史を肌で感じた京都研修旅行

10月23日～25日、3・4年次生合同の研修旅行で京都を訪ねました。1日目は比叡山 延暦寺の宿坊にて、僧侶の方の講話を聞き、翌朝は暗いうちに起床して、深閑としたお家で厳かに己と向き合う坐禅を体験しました。2日目は自分たちで計画を立て京都を巡る班別研修、3日目は年次別研修で、宇治平等院鳳凰堂(3年次)、伏見稲荷大社と北野天満宮(4年次)をそれぞれ訪れ、教室で学んだ歴史を肌で感じることができました。仲間と過ごした3日間は、かけがえのない大切な思い出の一つとなりました。



秋晴れの下、智学館生の絆が深まった 20km踏破の「Walking Day」

11月12日、天候に恵まれた秋晴れの下、全学年の縦割りの班構成で、岩瀬駅から筑波休憩所までの20kmを歩きました。歩くペースも人それぞれ異なり、最初はバラツキもありましたが、後半になるにつれて歩調を合わせて全員でゴールへ向かう意識が芽生えていました。昨年度と同じコースであったため、前回の反省を生かして互いに声を掛け合う姿も。リーダーシップとフォローアップの両面を発揮しながら、強い連帯感を持って無事ゴールまでたどり着くことができました。大きな達成感とともに、年次を超えた智学館生の絆は一層強いものとなりました。



水戸観光コンベンション協会主催 中国からの幼稚園・保育園視察団が来園

9月26日、水戸観光コンベンション協会、幼児教育保育学科長福田洋子教授からの要請を受けて、中国の幼稚園・保育園の経営者や幼稚園教諭・保育士の17人、その他協会員、通訳者など計20人が視察団として来園しました。子どもたちが遊ぶ様子や運動会の準備を参観した後、意見交換会が行われました。酒巻園長からの本園の教育方針に関する説明に続き、視察団の皆さんから本園の感想、中国の幼稚園の現状が語られ、教育内容から教職員の働き方に至るまでさまざまな質問が投げかけられました。グローバル化が進む昨今、国際交流の一環として中国の保育事情を知り、日本の現状を客観的に把握できたことは教職員にとって貴重な経験となりました。



子どもたちが作り上げた創作劇発表会 成長が垣間見えた思い出に残る一日

12月7日、毎年恒例の創作劇発表会。それぞれの成長に合わせた演目を考え、子どもたちの意見も取り入れながら、11月から少しずつ練習を重ねてきました。年少組は一人ひとりがとても初々しい可愛らしさで、年中組はストーリーを理解し、友達とのやりとりを楽しみながらハツラツと演技、年長組は3年間の集大成。園生活のいろいろな場面を劇中に盛り込みつつ、みんなで台詞の一つひとつ考え、作り上げた見応えのある創作劇の発表でした。一つの作品を演じ切れたことで、子どもたちに新たな自信も芽生えた素晴らしい一日となりました。保護者の方々の笑顔、子どもたちのキラキラした瞳が印象的でした。



サンタさんの登場に大歓声！ 素敵な 音楽に包まれた「クリスマスお楽しみ会」

みんなが心待ちにしていたクリスマスまで間もない、12月16日。本園で一足先の「クリスマスお楽しみ会」が開かれました。いつも「音楽で遊ぼう」でリズム遊びや歌を紹介してくれる幼児教育保育学科准教授の鈴木範之先生と、フランス音楽留学から一時帰国している齋藤友梨さんが、クリスマスバージョンの「音楽で遊ぼう」を披露。楽しい歌やリズムが奏でられ、特に鈴木先生のピアノと齋藤さんのサクソの演奏は心に響きました。音楽で楽しい気分になった後は、見習いサンタさんたちの登場。お手紙に書かれた子どもたちの質問に、見習いサンタさんが優しく答えてくれました。部屋には、一人ひとりにプレゼントが用意されていて、あちこちから子どもたちの大きな歓声が聞こえました。12月の冬空の下、心が温まる特別な一日でした。





Eye on Dreams

この春、羽ばたく学生、生徒に注目!



大学

常磐大学 国際学部経営学科 4年
小澤 洸太
進路:日本アイ・ビー・エム株式会社

経営学とプログラミングを探索し、
未来への道を切り拓いた大学生活。
ITスペシャリストとして邁進します。



短大

常磐短期大学 幼児教育保育学科 2年
川澄 咲歩
進路:学校法人宮本学園 認定こども園 みどり流星こども園

子育てサポーターとして
子どもたちの成長を見守り、
成長し続けられる保育士に。

自分の好きなことに本気で打ち込んだ4年間でした。サッカー部に所属し、過去最高の北関東リーグ3位を獲得。学部では国際経営学のゼミに所属し、グローバル企業の経営戦略について学びました。授業以外でも、経営学の教員の研究室に足を運び、研究のヒントや専門知識をじかに教えていただきました。3年次に興味を持って始めたプログラミングをきっかけに、IT分野のグローバル企業で働きたいと目標が明確になりました。就職活動中、何事も自主的に取り組むように切り替えたことが良い結果につながったのだと思います。卒業後は、IBM本社でITスペシャリストとしてのキャリアをスタートします。どんな時も人の気持ちを気遣い、前向きに取り組める社会人を目指します。

保育士を目指すにあたり、実習が充実していると聞き、常磐短期大学を選びました。1年次から担任の先生に将来を相談しながら、幼児教育の専門知識を学び、常磐大学幼稚園での体験授業、就職を志望する園でのボランティア活動など幅広く学ぶことができました。学生生活の一番の思い出は、みんなで作り上げた幼教フェスタ。1年次は劇、2年次はダンスと自分たちでステージ演出や衣装づくりを行いました。授業・実習・ピアノ練習・子供服売り場でのアルバイト・1年次からの計画的な就職活動など目まぐるしい2年間でしたが、これらの経験を生かして、笑顔を忘れず子どもに寄り添いたいと考えています。また、就職後も、都内でのスキルアップ研修に積極的に参加するなど、学び続ける保育士でありたいと思います。

Eye on Books

大学・短期大学の教員が執筆したさまざまな分野の著書をご紹介します。

新訂 矯正用語事典

人間科学部 教授 寺村 堅志・総合政策学部 教授 千手 正治



鴨下 守孝 編
2019年9月 東京法令出版
犯罪者や非行者の支援・処遇に携わる矯正職員向けに実務関連用語を平易に解説した副教材的事典。寺村は心理学関連用語など31項目を執筆、千手は「法学」の法の解釈、「刑事法」の刑事司法、「刑事政策」の海外の制度を中心に執筆しました。

ニュージーランドTODAY

総合政策学部 教授 千手 正治



ニュージーランド学会 編
2019年4月 春風社
ニュージーランドの産業や経済・行政・司法など最新情報をニュージーランド学会が1冊にまとめたものです。「修復的司法」「マラエ司法」「刑務所民営化」の3項目を担当しました。

夢を叶えるために日々学び、仲間と成長してきた学生、生徒たち。
 今、卒業を目前にして、大きく羽ばたこうとしています。
 充実の学校生活で得た学びや友人、思い出、
 そして、新たなステージに向けての目標を聞きました。



高校 常磐大学高等学校 3年
 瀬端 壮太
 進路:筑波大学 人間学群障害科学類

将来の目標と出会った高校生活。
 日本の特別支援教育を充実させるために
 障害科学を学び、可能性を広げたい。

将来の目標を決定づけたのは、1年次に体験したカナダ留学でした。カナダでは健常児と障害児がともに学ぶインクルーシブ教育が普及しています。元々特別支援教育に興味があったこともあり、帰国後は学校独自のカリキュラムである探究活動を通じて、日本の特別支援教育の歴史や教員養成課程などを研究し、論文にまとめました。3年次は、通常の受験勉強に加えて、障害に関連する本を10冊以上は読み込みました。大学入学後は、インクルーシブ教育が社会にどんな影響を与えるか、その意義について学びを深めたいと考えています。筑波大学は医学や科学など多様な専門分野で学ぶ学生が集まる総合大学です。さまざまな人や知識と出会い、自分の世界をさらに広げたいと考えています。



智学館 智学館中等教育学校 6年次
 田山 水稀
 進路:駒澤大学 文学部社会学科

6年間の学校生活で育んだ
 探求心と表現力を生かして
 新しい価値を提案できる人になる。

大学では、家族社会学やジェンダーについて学びたいと思っています。そのきっかけとなったのは3年次から始まった探求学習。少子化や経済格差、交通弱者、高齢者の免許返納問題など自分が今知りたいテーマを調査・研究・発表する活動に夢中になりました。最初は人前で話すことが苦手でしたが、智学館では一人ひとりが発表する機会も多く、徐々に自分の意見もしっかり言えるようになりました。大学受験の面接にもその効果はあったのかもしれませんが、6年間の学校生活では、クラスや合唱部の仲間たちと、お互いの長所も短所も認め合いながら、団結力を育むことができました。大学では社会学を究め、世の中の「常識」をひっくり返せるような、マイノリティの視点に立った新しい価値や考え方を提案できる人になりたいです。



生き物と音の事典

総合政策学部 教授 中原 史生



生物音響学会 編
 2019年11月 朝倉書店
 生物音響学を網羅的に解説した初の百科事典です。対象生物は哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類、甲殻類、昆虫類と幅広く、「イルカの行動と生態」を担当しています。

Gift— 物語るケア

看護学部 准教授 柳橋 礼子



井部 俊子 編 いいね看護研究会 協力
 2019年11月 日本看護協会出版会
 本書では、ナーシング・フォトボイスの手法を用いて、看護の一場面を撮った写真に当事者の思いとケア提供者のメッセージを添えています。研究会で語られた素敵な物語Giftをお届けします。

| Campus schedule | |
|-----------------|---------------|
| 大学・短大 | |
| 卒業式・学位授与式 | 3/20(金) |
| 入学式 | 4/3(金) |
| オリエンテーションガイダンス | 4/6(月)~9(木) |
| 授業開始 | 4/10(金) |
| 高校 | |
| 2学年修学旅行 | 2/13(木)~17(月) |
| 卒業式 | 3/1(日) |
| 入学式 | 4/7(火) |
| 智学館 | |
| 卒業式 | 3/2(月) |
| 4学期修了式 | 3/21(土) |
| 1学期始業式 | 4/7(火) |
| 入学式 | 4/8(水) |
| 幼稚園 | |
| 卒園式 | 3/17(火) |
| 第3学期終業式 | 3/19(木) |
| 第1学期始業式 | 4/8(水) |
| 入園式 | 4/10(金) |

寄付者ご芳名 (敬称略)

ご厚情に深く感謝し、以下のとおりご報告いたします。
[2019年10月~12月受け付け分]

| 諸澤幸雄奨学金制度への募金 | |
|--|---------------------------------------|
| 学校法人内の各学校に在籍する学生・生徒で、経済的理由により学業の継続が困難な者に対して奨学金を給付することにより修学機会を与え、もって有為な人材の育成に資することを目的とした給付型奨学金制度です。 | |
| 法人 | 500,000円 (株)西山工務店* |
| 個人 | 24,000円 中村 和彦* |
| 芳名のみ公表 | 江原 麻子* 小宅 祐輔* 齋藤 祐輔* 横須賀 敬章* |
| 累計金額 104,519,208円 | |

| 見和キャンパス開設50年施設整備事業募金 | |
|--|--|
| 施設整備事業として、ラーニング commons の整備及び新体育館の建設整備事業を順次進めてまいりました。現在は、見和キャンパス開設に合わせて建設された校舎の建て替え整備資金としての募金です。 | |
| 個人 | 岩間 健一郎* 内田 和毅* 海老澤 秀揮* 関 いつみ* 久松 雄大* 横山 正和* |
| 芳名のみ公表 | |
| 累計金額 13,625,140円 | |

| 教育および学術研究の充実・発展のための募金 | |
|-----------------------|--------|
| 300,000円 | 田中 一夫* |

●複数回お申し込みくださいました方は芳名に*を付しました。
税制上の優遇措置
寄付金募集について、文部科学省から特定公益増進法人の証明書交付を受けております。本学にご寄付いただきました場合は、税制上の優遇措置を受けることができます。

寄付募集の詳細については、
ホームページでご覧いただけます。
<https://www.tokiwa.ac.jp/fund/>

寄付金のお申し込みおよびお問い合わせ
学校法人常磐大学 会計経理課 寄付係

【お電話で】 **029-232-2554**
【メールで】 **kifu@tokiwa.ac.jp**

皆さまからのご意見大募集!

- ①印象に残った記事とその理由など
- ②今後、広報誌で取り上げてほしいテーマなど

皆さまからのご意見・ご感想を
メールまたははがきでお寄せください。

※名前、住所、本学との関係(在籍者の場合、所属する
学校名)も併せてご記載ください。

[メール送信先] **kikaku@tokiwa.ac.jp**

[はがき郵送先] 〒310-8585
茨城県水戸市見和1丁目430-1
学校法人常磐大学 総務課広報係



お寄せいただいた方の中から、
抽選で20名様に
常磐大学オリジナルグッズを
差し上げます。



常磐大学大学院
常磐大学
常磐短期大学



常磐大学高等学校
智学館中等教育学校
常磐大学幼稚園



<https://www.tokiwa.ac.jp/>

奨学金奨学生等決定のお知らせ

| 諸澤幸雄奨学金奨学生 | | |
|--------------|----|------------------------------|
| 2019年度 | 大学 | Ⅱ種奨学生 2人 |
| 外国人学生奨学金奨学生等 | | |
| 2019年度 | 大学 | 外国人学生奨学金 1人 外国人学生授業料減免 3人 |

常磐大学・常磐短期大学 2019年度 海外研修

| | |
|-----------------|---|
| 海外研修 (アメリカ) | 参加者12人 カリフォルニア大学アーバイン校 2020年2月2日~3月1日(29日間) |
| 海外研修 (台湾) | 参加者5人 国立台北教育大学 2020年2月16日~2月22日(7日間) |
| 海外研修 (フィリピン) | 参加者10人 バゴ市立大学、オイスカバゴ研修センター 2020年2月16日~2月29日(14日間) |

2019年度は、総勢27人の学生が、以下の日程で
海外研修に参加します。



常磐大学は平成28年度大学評価の
結果、(公財)大学基準協会による大学基
準に適合していると認定されました。



常磐短期大学は平成26年度(一財)
短期大学基準協会による第三者評
価の結果、適格と認定されました。